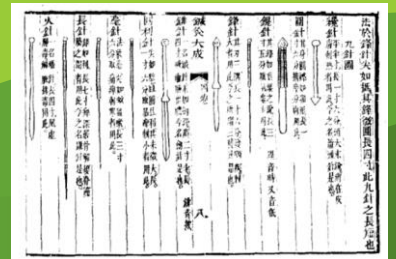
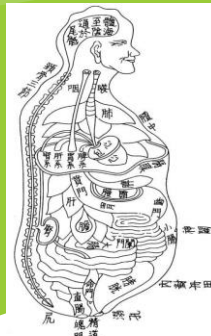


# 古典セミナー 第三回『黄帝内経』講義



【日 時】 2022年2月27日 (日) 14時～16時

【定 員】 100名まで

【参加費】 無 料

【開催方法】 WEB 開催 (Zoom ミーティング)

【参加条件】 掌友会会員 (卒業生および在校生) であること / 掌友会メールアドレス登録済みであること

講義概要 :

宮川浩也先生による古典セミナー (3 回シリーズ) も、いよいよ最終回となりました。前回 (第 2 回) セミナーでは、『内経』はどのように「ツボ」を探していたのか! と題し、『黄帝内経』の「ツボ反応」を、宮川先生独自の視点により【1 俞】、【2 輸】、【3 腧】、【4 穴・絡・節】、【5 寒・熱】、【6 陷下】、【7 拍動】、【8 ツボを診る】に分類・解説され、「ツボを探す」ことの重要性を見直し、ツボを探す学問としての樹立が急務であると述べられておりました。

そして、第 3 回セミナーのテーマは、

**「どおりで紛らわしい! 2000 年の迷妄を明らかにする!」**です。

また、サブテーマは

**『内経』の 3 つの流派 (蔵府をととのえる流派・経脈を疎通する流派・九鍼を使いこなす流派) を明らかにする!** です。

最終回のテーマも今からとても楽しみです。皆さん奮ってご参加ください!

講師ご略歴 :

1956年: 宮城県生まれ。1978年: 東京農業大学農学部卒業。1981年: 東洋鍼灸専門学校卒業。島田隆司氏に入門。1986年: みやかわ温灸院開業。1993年～: 東京衛生学園専門学校非常勤講師。日本内経医学会元会長、日本伝統鍼灸学会元副会長 (現相談役)。共編著に『素問・靈枢総索引』 (日本内経医学会刊、1993年)、『扁鵲倉公列伝幻雲注の翻字と研究』 (北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年)、『素問攷注』 (日本内経医学会・北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1998年)、『黄帝内経明堂』 (北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年) がある。『素問・靈枢総索引』は1994年に第8回中賞受賞 (医道の日本社主催)。『黄帝内経明堂』は、1999年に第13回中賞を受賞。